

テイケア通信

十二月号



どんがら汁 (山形県)

「どんがら汁」は「寒鱈(かんだら)」の身、頭、内臓を岩のり、豆腐、葱や大根などの野菜と共に味噌仕立ての汁で煮る山形県庄内地方の郷土料理です。

「どんがら汁」は「寒鱈(かんだら)」の身だけでなく、骨、内臓、頭もほぼすべての部位が利用できる。「胴」と「殻」を余すことなく使っているので、もとは「胴殻(どうがら)汁」と呼ばれていましたが、「どうがら汁」が訛って「どんがら汁」になったものと思われます。鱈は身だけでなく、骨、内臓、頭もほぼすべての部位が利用できる。「胴」と「殻」を余すことなく使う「どらばら汁」が生まれたようです。

12月16日昼食に提供!



写真はあくまでイメージ

年越しそばの由来

年越しそばの由来は諸説ありますが、なかでも有力とされる説をご紹介します。

長寿の縁起物として食べられるようになったそばは細く長く延びるので、細く長く生きるようにと「延命長寿」を願って食べられるようになったと言われています。

一年の災厄を切って、新しい年を迎えるためにそばは、他の麺類に比べて切れやすいから、一年の苦労や災厄を切り捨てたいと願って食べられるようになったと言われています。そばの力強さにあやかするため

そばは、やせた土地でも育ち、暴風雨にも強いことから、そばのように力強く生きられるようにと食べられるようになったと言われています

ゲン担ぎとして食べられるようになった

商人の間では、月末にそばを食べる習慣(晦日そば)があり、長く商売が続けられるように、支払いが細く長く続けられるようにという、ゲン担ぎからきてるとされます。その習慣が、庶民にも広がり、大晦日にそばを食べるという習慣になったと言われています。

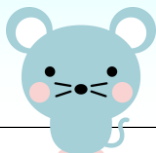
臨時利用・振替利用 随時受付中!

デイケア利用時にお休みした場合は、他の曜日に振替利用ができます。また、ご家族様のご都合で、予定外に利用したい時など、臨時の利用もできます。詳しくはオキドキにご連絡下さい。(042-596-0111)



通所年末年始のお休み

- ・年内は、12月30日(水曜日)まで営業します。
- ・年始は、1月4日(月曜日)より営業します。
- ・1月11日(月曜日)の祝日は通常どおり行います。



12月主な予定

- 7日(月)～11日(金) 体重測定
- 8日(火) 麵食いめぐり
- 16日(水)～22日(火) ゆず湯
- 21日(月) セレクト食
- 24日(木) お楽しみ献立

